

令和7年度後期 新政いいだ 政務調査研究報告

2026年2月5・6日
茨城県行方市、千葉県柏市

視察先・調査事項

1. 廃校を利用した「なめがたしろはとファーム」の取り組み

日時 令和7年2月5日

場所 茨城県行方市 らっぽっぽファーマーズヴィレッジ

2. 柏の葉スマートシティー ～公民学が連携したまちづくり～

日時 令和7年2月6日

場所 千葉県柏市 柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)

株式会社なめがたしろとファーム MAP



株式会社なめがたしろとファーム概要

運営法人：株式会社なめがたしろとファーム

所在地：茨城県行方市宇崎1561番地

法人設立日：平成24年（2012年）12月17日

施設稼働日：平成27年（2015年）10月30日

敷地面積：21,557.19㎡（約6,532坪<廃校跡地部分のみ>）

建物延床面積：7,571.82㎡（約2,294坪）[商業棟1663.46㎡・ミュージアム棟1524.27㎡・工場棟4384.09㎡]

事業目的： さつまいもスイーツ、干し芋、焼き芋など食品製造工場の運営

甘藷栽培収穫を主とした旬の農作物の生産→農業後継者の育成、国内食糧自給率の向上

体験型農業テーマパーク「らぼっほ なめがたファーマーズヴィレッジ」の運営



さつまいも的一大産地、茨城県行方市に位置する

体験型農業テーマパーク「らぼっほ なめがたファーマーズヴィレッジ」



●ポリシー：

日本の農業をステキにしよう

●コンセプト：

おいも 食べる、育てる、おいしい体験

株式会社なめがたしろはとファーム 設立経緯・沿革

- 平成23年1月 (2011年) 宮崎県と鹿児島県に跨る霧島連山 新燃岳 が大規模噴火
白ハトグループの宮崎工場（宮崎県三股町）に10tトラック40台以上にもなる大量の火山灰が降り、空調並びに冷却設備などの生産と保管の中核機能を喪失、3カ月もの操業停止を余儀なくされた。
- 平成23年3月 東日本大震災発生・東京電力福島第一原発で水素爆発発生
1月の新燃岳噴火降灰による宮崎工場の操業停止を受け、企業のBCP対策の一環として日本国内で甘藷生産量第2位の茨城県内に工場進出するのが、産地と大規模消費地の首都圏を繋ぐ導線ともなり合理的であると考えた。茨城県内の工場物件各所を訪問中に当社グループ代表が東日本大震災に遭遇。原発事故による放射能拡散被害が茨城県にも及ぶのではと危惧される方々が国内で増え、茨城県産農作物が敬遠される風評被害が多く出て、当社グループで使用する甘藷の主力仕入先であるJAなめがた（現JAなめがたしおさい）が甘藷を市場に卸せず困窮している所に当社グループが手を差し伸べ、JAなめがたで保有していた甘藷を全量買取した。これを機にJAなめがた・行方市・茨城県と白ハトグループが急速に絆を結ぶに至り茨城県行方市に拠点を進出した。
- 平成24年12月 (2012年) 農業生産法人 株式会社なめがたしろはとファーム設立
- 平成25年10月 (2013年) 農林水産省総合化事業に応募し6次産業化企業に認定
- 平成26年1月 (2014年) 旧市立大和第三小学校を行方市より購入
- 平成26年12月
平成27年10月 (2015年) らぼっほなめがたファーマーズヴィレッジ建設開始
体験型農業テーマパーク らぼっほなめがたファーマーズヴィレッジ (NFV) 開村



▲廃校となった大和第三小学校をリノベーション



▲なめがたファーマーズヴィレッジ開村式。行方市出身の永作博美さんも来場。



3

株式会社なめがたしろはとファーム 第6次産業の取り組み



さつまいもを始めとする旬の作物を茨城県内で栽培



第1次産業 育む



なめがた生産工場にておいもスイーツ生産



…焼き菓子、干し芋、フライ商品を中心に生産



…「やきいもファクトリーミュージアム」に工場併設。生産工程の見学も可能。

第2次産業 つくる



体験型農業テーマパーク らぼっほなめがたファーマーズヴィレッジ



…農家直送レストラン、ファーマーズマルシェでの採れたて食材提供。農業体験イベントなど。

らぼっほ店舗での販売

原料卸しOEM生産での外部販売

第3次産業 伝える

私たちは、生産から販売まで一貫した**第6次産業**に取り組んでいます

5

株式会社なめがたしろはとファーム 第12次産業の取り組み

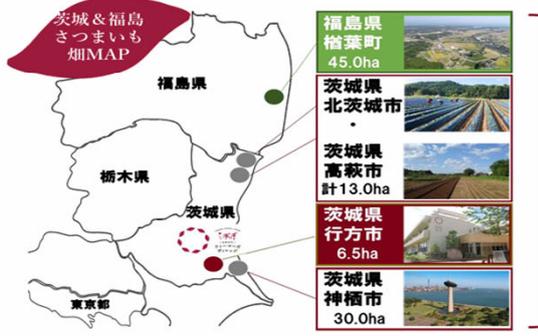


第1次産業 育む

茨城県内さつまいも農地拡大計画



私たちは、苗・土づくりからさつまいも栽培を行っています。



福島県
茨城県内に
合計
約94.5ha
(2023.4現在)

東京ドーム
約**20**個分

茨城県の良質な赤土で、
安納芋の栽培

安納芋

◎赤土…ずば抜けた甘さが特徴のブランドさつまいも「安納芋」を育てるのに適した土質とされています。

安納芋の苗培養 + 茨城県内の農地拡大 → 茨城県行方市をブランドさつまいも「安納芋」の聖地へ



茨城なめがた工場



体験型農業テーマパーク「らぼっほ なめがたファーマーズヴィレッジ」内にある工場。スイートポテトなどの焼き菓子を中心に生産しています。



■安全安心の取り組み

各工場においてより一層の安心安全な製品を提供するため、2021年国際的な食品安全マネジメントシステム「FSSC22000」の認証を取得いたしました。*
食品安全管理体制の構築を目指し、継続的改善を実施して参ります。



*なめがた工場（スイートポテト生産ライン）



やきいもスイートポテト



スイートポテト（舟型）



カップスイートポテト



ほしいもバスクチーズケーキ



ポテトアップルパイ半製品（店舗で仕上げ調理）



窯出しポテトアップルパイ



甘熟ほしいも



ほしいもスイーツ原料



おさつボール



おいも蜜けんぴ



外販営業販売商品例



万代様：
やきいもスイーツぽてと



オーケー様：
焼き芋スイーツポテト



マスタ様：
焼き芋スイーツポテト



7月～
ベルク様、オークワ様
やきいもスイーツポテト
テスト販売予定！



コープ様、サンユーストアー様など：
おさつボール



ロピア様：
国産さつまいものスイーツポテト



- ポリシー：
日本の農業をステキにしよう
- コンセプト：
おもい 食べる、育てる、おいしい体験

日本一の体験型農業テーマパーク



廃校をリノベーション



やきいもファクトリーミュージアム



畑直送レストラン



ファーマーズマルシェ



季節の収穫体験& FARM GLAMPING



第3次産業 伝える

おいも夜桜ランタンバルーンフェスティバル



校庭の夜桜をバックに打ち上げる、桜色のLEDランタン



2024年
2日間開催で
371名
打ち上げ参加!

第3次産業 伝える

日本一のやきいもまつり

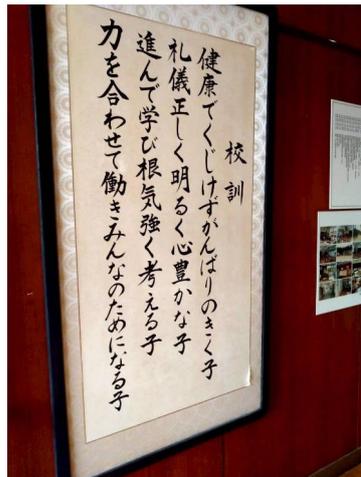


日本一のやきいもの聖地で開催！やきいも尽くしのやきいもまつり



6日間開催で
11,733名
来場!





行方市と飯田市との意外な接点が、、、



まとめ なめがたしらはとファームズ

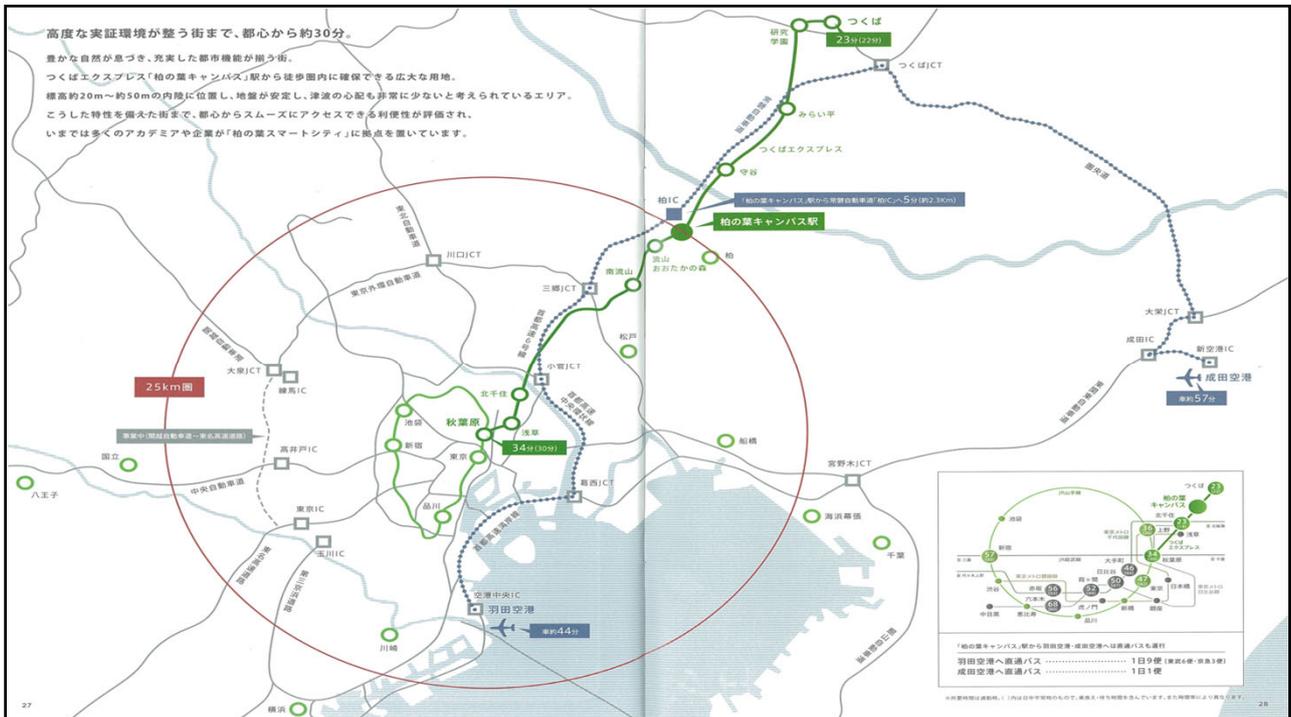
- ・廃校に行政が民間を誘致、「地域産業活性化」「観光」「交流の場」「雇用創出」に貢献している。
- ・飯田市でも民間等を活用し施設の有効活用を検討したい。



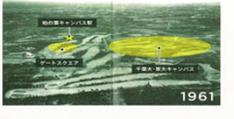
柏の葉
アーバン
デザイン
センター

UDCK

Urban Design Center Kashiwa-no-ha

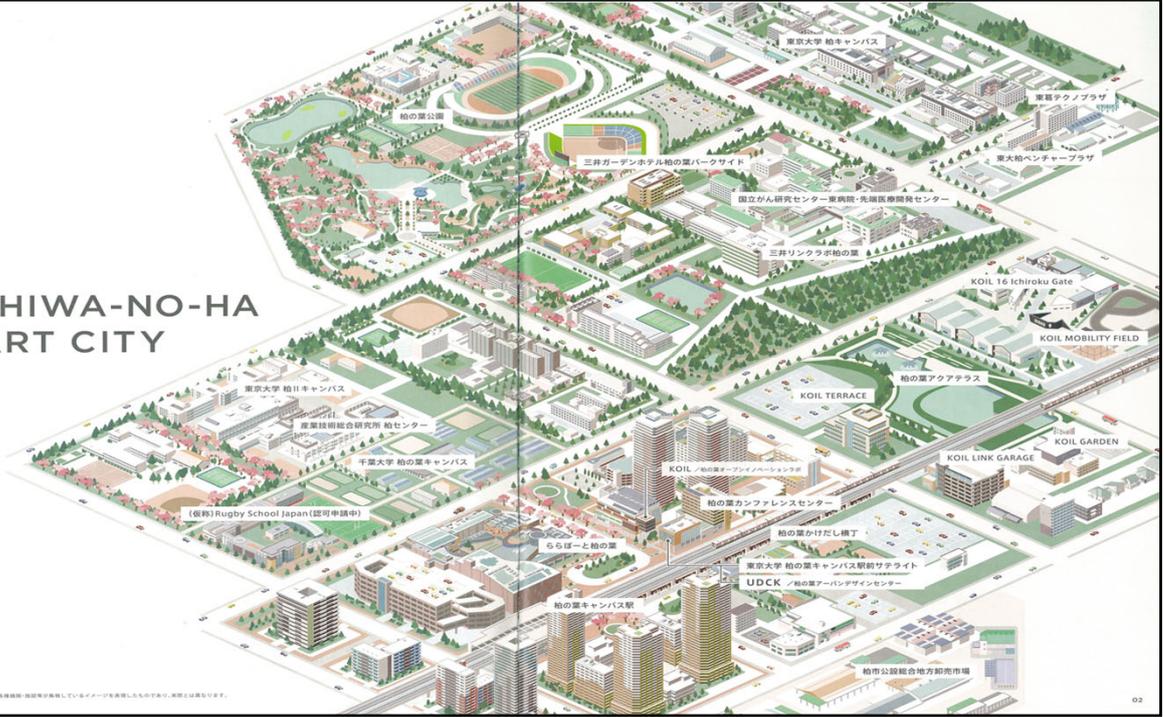


江戸の頃、幕府直轄の領地であった船の葉一帯は、明治になり、開港入港が開始されました。その後、陸軍飛行場、アメリカ空軍通信基地を経て、1961年、「船ゴルフ倶楽部」がオープン。そして、新たな時代を迎えた2000年、船の葉エリアの街づくりが、ついに本格的にスタートしました。あれから10年以上の時間を重ね、この街は、世界から注目を集めるほどに進化を遂げています。ここに集結したたくさんのプレイヤーたちとともに、「世界の未来像」を追い続けてきた「船の葉スマートシティ」。この街の可能性は、広がるばかりです。



KASHIWA-NO-HA SMART CITY 2022

KASHIWA-NO-HA SMART CITY



※イラストは船の葉エリアの将来構想・施設等の名称しているイメージを表現したものであり、実際とは異なります。



この街で暮らす人々とともに、
豊かな風景を
育んできたスマートシティ。

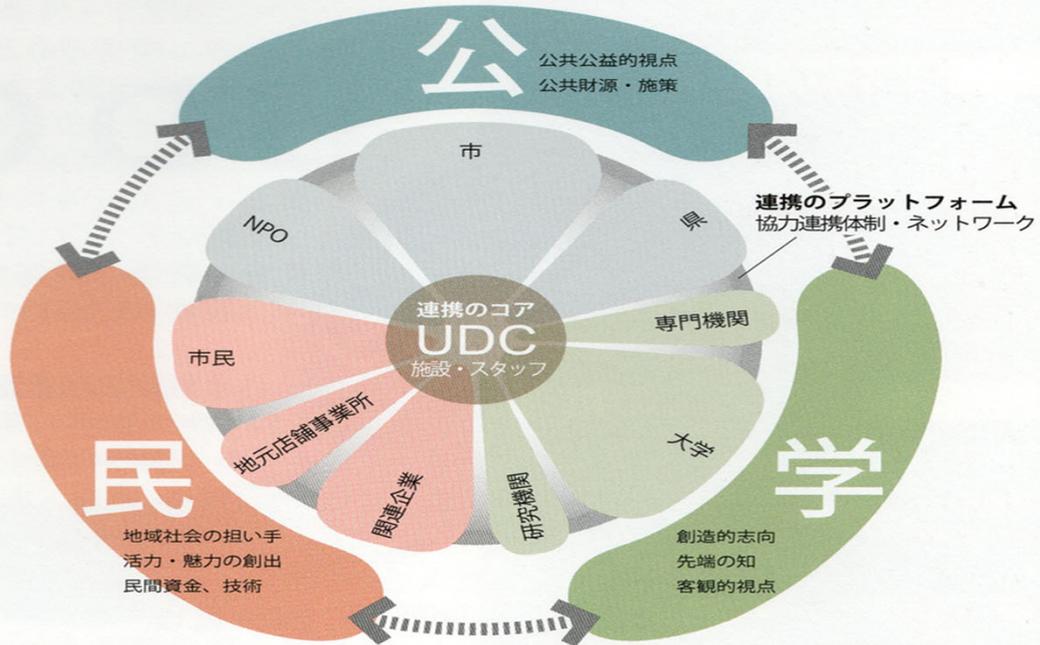
柏の葉の街づくりの指針を定めた「柏の葉国際キャンパスタウン構想」には、
8つの目標が掲げられています。
例えば、「環境と共生する田園都市づくり」、「質の高い都市空間デザイン」。
自然の潤いと都市のにぎわいが調和する未来を目指してきた柏の葉はいま、
人々がそれぞれの時間を豊かに愉しむ、多様なシーンを描いています。
「イノベーションフィールド都市」も、目標のひとつ。
緑あふれる環境のもとに、最先端の技術やアイデアを持つプレイヤーが集まり、
新しい未来に挑んでいます。

公 × 民 × 学

<p>柏市</p> <p>千葉県 (柏市まちづくり公社)</p> <p>※協力団体</p>	<p>三井不動産 首都圏新都市鉄道 柏商工会議所 ふるさと協議会 (田中・柏の葉)</p>	<p>東京大学 千葉大学</p>
---	---	----------------------

↓
施設・専任スタッフ・基礎的経費

公・民・学の連携によるマス・コラボレーション イメージ



UDCKが担う3つの機能

シンクタンク機能

街づくりに関わる学習・研究・提案を行うシンクタンク機能。自らが専門性を持ち、柏の葉エリアにおける具体的な目標と方針を定めた「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の推進・実行を担います。

コーディネーター機能

「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づいて、一つひとつの施策化・事業化を企画・調整。プレイヤーをつなぐ中間的機能を果たして共創をバックアップするとともに、持続的運営を支援します。

情報発信機能

柏の葉エリアにおけるさまざまな取り組みを、広く社会に発信。WEB、印刷媒体、報道発表、フォーラムなどを通じて、街づくりに対する理解促進を図るとともに、参画者の誘致などを行います。



柏の葉 かけだし横丁



- ・住民の要望から生まれた飲食店街。
- ・3坪の狭小店舗で家賃を抑え飲食業を始めて開業する方がチャレンジしやすくされている。
- ・軌道に乗れば、大きな店舗へ

多種多様なコワーキングスペース



家賃が違う様々なタイプの
オフィスを設置。

- ・フリースペース
 - ・個室タイプ
 - ・会議室タイプ
 - ・オフィスビルテナント
- 業績によりステップアップ

まとめ 柏の葉スマートシティー



- ・つくばエクスプレス開業により大いに発展した街。
公・民・学が連携し、最新技術を用いたまちづくりに
世界中から注目を浴びている。
- ・飯田市もリニア開通後、品川から45分。
民間企業・信州大学・飯田市の3者でより連携し、
リニア駅周辺の開発を進める必要性があるのでは。
- ・グリーン水素研究を中心に、「新産業創出」を
テーマに盛り込んだエリア開発の可能性はある。



ご清聴ありがとうございました